

02	東京	通常払込料金 加入者負担									
口座番号 (右詰めにご記入ください)		金 額									
0 0 1 1 0 4		千 百 十 万 千 百 十 円									
特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会		特 殊 取 扱									
加入者名		金 額									
通 信 欄		金 額									
おとこ		金 額									
フリガナ		金 額									
お 名 前		金 額									
電話番号		金 額									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行(私製承認第29863号))		金 額									

各票の※印欄は、申込人において記載してください。

当会は会費・会費制を実施していません。
 当会の活動にご賛同の方は是非ご入会下さい。
 また、当会は「認定NPO法人」に認定されています。
 皆様からのご寄付・賛助会費は、税法上控除の対象となります。
 正会員の会費は控除の対象になりません。
 ※皆様からお預かりした個人情報は当会の活動目的以外には使用いたしません。

現地の声

サウ・バーさん(48歳) 職業：農婦

私はポルポト時代に父親を失い、家が貧しく、学校に通ったことがありませんでした。
 文字の読み書きができないことで、ローン契約時に騙されそうになったことや、手紙や結婚式の招待状が読めず、いつも他の人に読むのを助けてもらっていました。

識字クラスを通して、少しずつ読み書きができるようになり、自分に少し自信を持つことができるようになりました。

識字クラス卒業後は、知人のビジネスの手伝いをしたいと考えています。

識字クラスの受講生徒の声



JHP支援校の先生の声



JHP支援校を卒業して母校の先生になった
ソイ・ソピアック先生(22歳)

私の通っていた母校は、日本の皆様からのご支援で、給水タンクから各トイレと手洗い場で常に水が使えるようになり、衛生状態を保つことができるようになりました。

また、電気が通ったことで各教室に扇風機が設置され、暑い日でも快適に勉強ができるようになりました。学べる環境と機会を与えていただき、お陰様で母校で先生になることができました。ご支援いただき、ありがとうございました。今後も一生懸命、生徒達に指導します。

温かいご支援をお願いします！

～ご寄付について～

1. 学校建設へ支援する (1口1,000円～)
2. 音楽・美術教育を支える (1口1,000円～)
3. 成人の識字教育を支える (1口1,000円～)
4. CCHをサポートとして支える (1年間:1口3万円～)
5. CCHを支える (1口1,000円～)
6. プロジェクト全体を支える (使途はJHPへ任せます:1口1,000円～)

※ 添付の「ゆうちょ」払込取扱票にてお振込の場合、(用途:)欄に上記の該当番号をご記入をお願いします。

●JHP銀行口座へのご寄付も可能です

◆ JHP口座：みずほ銀行 赤坂支店
 普通預金：口座番号 1844676
 名義：特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

ご参加の方法

会員になる

JHPは会員や支援者の皆さまのサポートで運営されています。
 ぜひ一緒に活動を支援してください。

- ◆「正会員」：定例総会や臨時総会の出席資格、議決権を持てます。
 会費は控除の対象にはなりません。
- ◆「賛助会員」：定例総会や臨時総会に参加できますが、議決権を持ってません。
 会費は寄付と同様に税法上所得控除の対象となります。

◇「年会費」：特別(正/賛助)会員50,000円 一般(正/賛助)会員5,000円
 学生(正/賛助)会員3,000円

※ご入会、継続加入ご希望の方は添付の「ゆうちょ」払込取扱票をご利用いただくか、以下の銀行口座までお願いします。

◆ JHP口座：みずほ銀行 赤坂支店
 普通預金：口座番号 1844676
 名義：特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

※JHPのホームページからもクレジット決済でお申込みいただけます。
<http://www.jhp.or.jp/member/>

様々なご支援の形

●お宝エイド：「もので寄付」

ご家庭でしまったまま使われていないブランド品のバックやアクセサリ、腕時計、携帯電話、貴金属、カメラ、古美術品等「もの」がJHPのカンボジア・ネパールの教育支援活動に役立てられるプログラムです。

●未使用の切手・書き損じはがき

未使用の切手やはがきをご寄贈いただくことで、事務局の郵送料削減につながります。また、換金分を寄付金とすることも可能です。

●寄付型自動販売機の設置

売上の一部がJHPの教育支援への寄付となる自動販売機を皆さまの職場や学校へ設置いただけませんか。

認定NPO法人 JHP・学校をつくる会

〒108-0014 東京都港区芝5-14-2 鈴木ビル2F

TEL:03-6435-0812 FAX:03-6435-0813

email: tokyo-office@jhp.or.jp

URL: <http://www.jhp.or.jp/>

できることからはじめよう！

認定NPO法人

JHP・学校をつくる会

JAPAN TEAM OF YOUNG HUMAN POWER



カンボジア・ネパールの
子どもたちに学びの機会を！

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
(ゆうちょ銀行)

「できることから始めよう！」

当会は1993年から、カンボジアをはじめ教育を必要とするこどもたちへ校舎建設を実施し、音楽・絵画などの教育支援活動を続けてきました。

その実績を評価され、2004年1月には国税局より認定NPO法人に認定されたので、ご寄付には税制上寄付控除が認められます。

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。

みなさまからの寄費・ご寄付が「JHP・学校をつくる会」の活動をめぐるご寄付が



JHPの活動地



衛生教育-カンボジア-



学校建設と併せて、トイレや手洗い場の整備を行っています。また、衛生教本を通じ衛生に関する知識を子ども達に教えています。

ハード面
学校建設 / 衛生教育支援



学校建設-カンボジア/ネパール/ラオス-



1993年より、老朽化した校舎の修復や教室数が不足している学校の建設を行っており、その数は、380棟以上になります。

国内を拠点とする支援活動
被災地支援 / ボランティア派遣 / 物資寄贈



被災地復興支援活動-国内-

東日本大震災や熊本地震などの災害発生時には、ボランティア派遣や義援金提供など被災地復興支援活動を行っています。



ボランティア派遣-カンボジア-

地球的視野を持つ人材の育成を目指し、高校生～社会人までを対象に延べ1500名以上をボランティア派遣してきました。



カンボジアの子ども達の学習のため、企業や区と連携し、寄せられた鍵盤ハーモニカや中古机/椅子を現地へ贈る活動を行っています。



教育支援活動(楽器清掃/机椅子寄贈)-国内-

活動の
ご紹介



芸術教育支援-カンボジア-



ソフト面
芸術教育 / 識字教育 / CCH支援

カンボジア全ての学校で美術・音楽の教育が行われることを目指し、教科書・指導書作成、専門教員やトレーナー育成、楽器・画材寄贈を行っています。



成人のための識字教室の開講-カンボジア-

子ども達が学校で学ぶ後押しとなるべく、お父さんやお母さんの識字率の向上を目指した成人のための識字教育事業を行っています。



CCH支援(幸せの子どもの家)-カンボジア-

生活や学習環境に困難を抱える子どもたちをサポートするCCH学校の支援を行っています。

子どもたちの未来の可能性を広げるために

JHPでは「できることから始めよう！」をモットーに、カンボジア・ネパールでの教育支援活動や、国内の地球市民教育・被災地支援を行っています。

学校で十分に学べない子どもたち



カンボジアでは、波尔・ポトの恐怖政治の時代、教師を始めとする大半の知識層の人たちが、無惨な虐殺によって犠牲になった歴史があります。これにより、内戦が終結後、カンボジアの教育環境は徹底的に破壊されてしまいました。今なお、学校校舎や教員・教材が不足している現状があります。

1, 学校 / 教室 / 衛生設備の不足

カンボジアの大部分を占める農村部では、すべての村に小学校があるわけではありません。近くに小学校がない村の子どもたちは、学校がある隣の村まで徒歩で1時間以上掛けて通わなくてはなりません。学校の老朽化が激しかったり、トイレや手洗い場等の衛生施設がない場合も多く、子どもたちが安心して学べる環境を整備していく必要があります。また、ネパールでも教室や教材の不足は深刻です。

2, 音楽・美術科目の教員・教材不足

内戦後のカンボジアでは、主要教科の国語や算数に力を入れてきたため、芸術教科(音楽/美術)は、社会科の一部の扱いとなり、教員やカリキュラムの質が十分ではありません。子どもたちが「自己表現」「自主性」「協調性」といった豊かな心を育てるよう、情操教育の充実が必要視されています。

3, 保護者の教育への理解不足

波尔・ポト内戦時代に育った親世代は、幼少期に十分な教育を受ける機会がなかったなどの理由で、教育の意義を理解しにくい現状があります。初等教育だけでは収入に直結しないからと、実際に子どもに勉強よりも家事を優先させてしまうことが多くあります。また、保護者自身も文字の読み書きができず、市場で騙されてしまうケースも多く報告されています。